



# 県政改革!

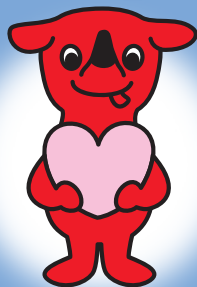
## 県議会レポート

千葉県議会議員 2021年 上期号  
**野田 たけひこ**

〒274-0077  
船橋市薬円台 6-6-8 TEL/FAX047-464-9333  
E-mail nodatake@shunzankai.com



### 千葉いのちの電話



### 電話相談

千葉いのちの電話 ☎043-227-3900  
24時間 365日

ナビダイヤル ☎0570-783-556  
午前10時～午後10時

フリーダイヤル ☎0120-783-556  
毎月10日 午前8時～翌午前8時

### 一人でなやまないで

あなたの心の想いや  
悩みを聞かせて下さい



### 人を思いやり、慈しむ「仁」の心

新型コロナウイルス感染症に感染した方々にお見舞いを申し上げますとともに、それによってお亡くなりになられた方々へ心よりご冥福を申し上げます。また、大きな感染リスクの中で、昼夜を問わず命がけで奮闘して下さっている医療従事者の皆様と、私たちが日常生活を送る上で、必要不可欠な業務に従事されている皆様に心より敬意を表し、厚く御礼申し上げます。

さて、論語などに出てくる徳目に「仁・義・礼・智・忠・信・孝・悌」があり、これらの徳目を備えている人を「君子」と呼びます。孔子は、この徳目の中で「仁」(思いやり、慈しみ)を最も大切なものとし、政治もまた「仁政」(思いやりの政治)であるべきだと説いています。

そして私も「仁」に基づき、民族や宗教、性別や年齢、障がいの有無等という違いを乗り越えて、人と人がいたわりあえる「共生社会の実現」を目指しています。

私たちは、今まさに新型コロナウイルスの脅威に直面していますが、人は見えないものに恐怖や不安を感じ、そのストレスから逃れようとして、自己防衛本能が働き、「見えない敵」の代わりに他の「誰か」を排除すべき存在と認識します。その結果、社会には偏見、差別、分断、対立等といったものが生まれます。

14世紀半ば、黒死病と呼ばれたペストがヨーロッパを中心に世界的に流行し、膨大な数の人々が亡くなりましたが、当時の人々は、この大量死の原因がわからず、「見えない敵」に恐怖と不安を募らせていました。やがて人々は、これはユダヤ人の仕業に違いないと考え、ヨーロッパ各地でユダヤ人への迫害や暴力、そして多くのユダヤ人が虐殺されました。

感染を正しく恐れ、その予防に注意を払うのは感染拡大防止のために必要なことですが、新型コロナウイルスへの恐怖や不安から、不必要なまでに「誰か」を非難、攻撃するのは避けなければなりません。特に感染者やその家族、医療従事者やエッセンシャルワーカー等への偏見、差別は、社会に分断と対立を引き起こします。私は今まさに、人を思いやり、慈しむ「仁」の心が大切だと考えています。

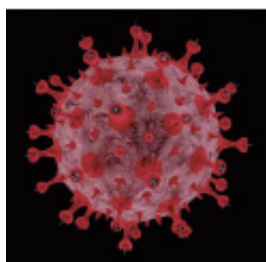
### 令和2年12県議会・代表質問

昨年12月3日に会派「立憲民主・千葉民主の会」を代表して質疑を致しましたので、その概要をご報告致します。

#### 新型コロナウイルス感染症対策

**Q** 感染者数が急増し医療現場は厳しさを増している。医療崩壊を防ぐには保健所におけるマンパワーの増強をさらに図る必要がある。またインフルエンザとの同時流行に備え、**発熱外来に対する県独自の支援策**を検討すべきである。

**A** 発熱相談コールセンターに看護師等を配置し、これまで保健所が担ってきた健康相談への対応を集約することなどにより、保健所の負担軽減を図る。また感染すると重症化するリスクが高い高齢者施設等の入所者や、当該施設の従事者への優先的な検査も考えている。



#### 児童虐待防止の取り組み

**Q** 県の一時保護所において、定員超過、過密化の解消、職員増員による労働環境の改善専門性向上のための研修機会の確保等、様々な取り組みが必要だ。また**民間による一時保護専用施設の設置を提言**する。

**A** 一時保護所の施設整備に要する経費や開設後の運営費を支援している。民間による一時保護専用施設については、設置を関係団体に働きかけ、課題等について協議する。



#### 性犯罪対策

**Q** 不幸にも性犯罪被害に遭ってしまった際には、「ワンストップ支援」が必要になる。迅速に支援するためには、性犯罪被害相談電話窓口につながる、全国共通短縮ダイヤル番号「**#8103**」(県警所管)や「**#8891**」(県環境生活部所管)を広く周知すべきである。

**A** 短縮ダイヤルを記載した広報カードの配布を行うとともに、市町村等の関係機関へポスター掲示等を依頼し、周知を図っていく。



#### ホームドアの整備計画

**Q** 西船橋駅等の県内駅にホームドアを早期設置するよう強く要望する。また高齢者、障がい者、体調不良者等の安全確保のために、県はホームドア導入に係る助成をすべきである。

**A** 総武緩行線の西船橋駅及び常磐緩行線の北松戸駅から北柏駅間の7駅は2021年度末まで、常磐緩行線の松戸駅は2024年度に供用開始するよう整備する。また**東京メトロの西船橋駅については、2024年度末までに整備**する。



また**東千葉メディカルセンター**における県派遣職員の不適切な事務の問題、性的マイノリティーへの理解促進や当事者支援のための**(仮)ちばパートナーシップ宣誓制度**の提唱、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指す**カーボンニュートラル**等について、ICT・AI等を活用したスマート県庁の推進、民間の空き家・空き室を利用した**住宅セーフティネット**の提唱、台風等の際に危険区域となる場所に立地している**避難所及び消防本部**への対応等、県政の諸課題も質疑致しました。



# 公約実現！

## 障害者等用駐車区画の適正利用

「障害者等用駐車区画」とは、施設の出入り口付近などに設置される車イスの乗降に必要な広さを備えた駐車区画で、法律により一定規模以上の公共施設や商業施設等で駐車場を整備する際に、その設置が義務付けられている駐車区画です。そこには車イスの国際シンボルマークが大きくペイントされています。皆様もスーパーにお買い物でお出かけの際に、ご覧になっていると思います。

この駐車区画は障がい者等、配慮が必要な人のためのものですが、ある調査によれば**利用者の約80%は「健常者」**で、本来、利用すべき人たちが車を止められないことが多々あります。

そのようなことがなくなるようにと、私は県議会の様々な機会を通じて、配慮が必要な人に利用証を交付することにより、駐車区画の適正利用を図るという「パーキング・パーミット制度」導入を提唱してきました。そして昨年10月、県は「**制度の早期導入を見据え、検討を進める**」旨の表明をしました。



## ヘアドネーション

ヘアドネーションとは、小児がん等の病気や事故等により髪の毛を失った子どもたちのために、髪の毛を寄付し、それによって「ウィッグ」を作り、無償で提供する活動です。

私が2018年の2月県議会で初めて取り上げるまで、行政が理解を示し、協力するということはありませんでした。しかし、船橋市では昨年の成人式に、市が作成した啓発チラシを配布し、今では千葉県も、県内54市町村全てにその普及・啓発・協力を呼びかけています。2020年12月現在40近くの市町村から協力の申し出があり、各市町村主催の成人式において、県が作成した「**身近な社会貢献を始めてみませんかーヘアドネーションで病気と闘う子どもたちを笑顔にー**」というチラシが配布され、広く普及・啓発されることになっていました。

しかしながら、コロナの感染拡大の影響により多くの市町村で、成人式を中止せざるを得ない状況となり、成人式を楽しみにしていた方々はもちろんのこと、ヘアドネーションの普及・啓発についても、とても残念なこととなりました。

## シトラスリボンプロジェクト

コロナ感染者やその家族に誹謗中傷が起き始めた昨年の4月上旬、コロナ差別解消を目指して愛媛県松山市で「シトラスリボンプロジェクト」が発足しました。

地域・家庭・職場や学校を象徴する「3つの輪」をかたどった「シトラス（愛媛県特産の柑橘類、（薄緑色）リボン）」をつけることで、新型コロナウイルスに感染した人やその家族、医療従事者等に「私は応援しているよ」という気持ちを伝えることと、感染者が差別を受けにくい環境を整える目的で始まったプロジェクトです。

昨年、茨城県水戸市では医療スタッフが、学童保育や保育所から子どもの利用を断られ、配偶者も職場から出勤停止を命じられ、奈良県天理市の大学のラグビー部でクラスターが発生した際も、ラグビー部と関係のない一般学生が教育実習の受け入れ先に予定されていた中学校、高校から受け入れ中止の申し入れがあったり、また島根県松江市の高校のサッカー部でクラスターが発生した際も、学校への批判や生徒を中傷するような電話が多数あり、サイト上でも生徒や学校への誹謗中傷のコメントがあったとのこと。そして残念ながら、船橋市内でも同様のことがありました。

そのようなことを受けて、昨年の9月県議会の我が会派の代表質問で、私は「シトラスリボンプロジェクト」についても質問項目のひとつとして、また船橋市においては同志の市議に市議会の一般質問で取り上げて頂くよう要望しました。

そして船橋市はホームページ、広報ふなばし、また啓発ポスターにより「シトラスリボンプロジェクト」を普及・啓発し、市内小中学校においても児童生徒にリボンを配布し、さらに市職員の名刺にシトラスリボンのロゴと賛同の旨を記載する等、全面的に協力しています。また私の「思いやりの輪」を広げようとの思いに賛同してくれた多くの県内の地方議員が、この活動を議会で取り上げ、その輪は広がっています。



## くまがい俊人さんのご紹介



一昨年の房総半島台風等、千葉県を襲った一連の災害時において、県民の期待に応えられない知事を目の当たりにしました。そして今、コロナが猛威を振るう緊急事態です。

現千葉市長であるくまがい俊人さんは、一昨年の災害時でも陣頭指揮で災害対応をし、県内他市の窮状にも手を差し伸べたリーダーです。

コロナ禍において県独自の支援策も必要です。しかしコロナが終息したら、財政再建に取り組まねばなりません。くまがい俊人さんは、全国の政令市の中で最も財政状況が悪かった千葉市を立て直したという実績があります。私は、くまがい俊人さんに期待します。

野田たけひこ

## 市町村との連絡体制を確立し、県民の命と暮らしを守る

31歳の若さで千葉市長に選んで頂き、県とほぼ同じ権限を持つ千葉市で11年間、職員とともに市政改革に取り組み、政令市ワースト1位だった財政を立て直し、一昨年の災害対応や新型コロナ対応においても、先手を打って千葉市独自のスピード感ある対応を行ってきました。その一方で、県政は今、多くの課題を抱えており、一人の県民として見過ごすことはできません。

積み重ねてきた行政経験と危機管理能力、確かなビジョン、若さと行動力で、「病床の確保やPCR検査体制の拡充」「コロナ禍で苦しむ県民・中小事業者を支えるための県独自の対策」「災害に強い千葉県づくり」「医療や介護の充実、子育て支援や児童虐待対策」「狭い道路の解消などのインフラ整備」等の県政の課題に最前線で取り組んでまいります。

千葉市長として300回以上の市民対話を重ね、現場視察を重ねて、職員とともに課題解決に取り組んできたように、県内各地の課題解決に向けて、県庁職員・県議会のもとより、市町村や関係者、何より県民の皆さんの声を十分に吸い上げ、丁寧に課題解決に取り組む、全身全霊で千葉県のために尽くします。

熊谷 俊人

公式ホームページ <https://www.kumagai-chiba.jp>

### 「県民の命と暮らしを守る 11の県政ビジョン」

1 徹底した現場主義と対話

2 先を見据え、市町村・医療現場と連携した新型コロナウイルス対策

3 1日も早い復旧復興、危機管理リーダーシップ、災害に強い県土づくり

4 千葉市で結果を出してきた民間投資を引き出す経済産業施策を県全体へ波及

5 半島性を克服し、県内各地を活性化する交通インフラの充実

6 超高齢化時代に対応した千葉県の医療・福祉の充実

7 子育て世代だからこそ推進できる現場目線の子育て・教育施策の充実

8 「農・漁」×「産業」×「文化」＝海洋立県、豊かなライフスタイルの確率へ

9 誰もがその人らしく生きる、わかりあえる共生社会の実現

10 「千葉県を経営する」広域行政体と呼ぶにふさわしい仕事を

11 県と政令市の理想的関係を構築し、千葉県の総力を高める